

1. 品質目標

- ①職員の介護技術、知識の向上を図るため、全職員が課題研修を受講し理解度 100%を目指します。
- ②ホームページに施設の話題を掲載、又はご家族にご利用者のご様子をユニット新聞で報告し、ご家族との結びつきを維持していきます。(HP 掲載 30 回以上/年間・ご家族へ新聞発送 29 人)

品質目標達成状況

令和4年度は、介護技術や知識の向上を図る為、職員がそれぞれ業務の合間にインターネットの動画配信で47項目の課題研修を受講してきました。課題ごとのアンケートでは、「この研修を受講して何を実施しようと思ったか」、「この研修でもっとも印象に残った内容は何だったか」を記入してもらい、ケアに対して意欲的な意見を確認することが出来、理解100%を得ることが出来ました。また実際にご利用者のケアに活用するきっかけにもなっており、サービスの質の向上に繋がっています。

新型コロナウイルス感染対策の為、令和4年度もご利用者とご家族の直接面会を制限せざるを得ない状況の中、少しでも安心して頂くため、ご利用者の生活のご様子や、行事などの写真を撮り、ホームページでの公開や各ユニットの職員が紅華の森新聞として構成し、完成した新聞を毎月ご家族にお渡しすることが出来ました。ご家族からは「楽しみに見えています。大事に取ってあります」と直接、感想を伺うことがあり、ご家族との結びつきを維持することができたと実感しています。

2. 品質目標実施計画

令和4年度	目標達成実施項目	実績
4月	①ネット研修を実施する	①各ユニットで月4項目のWeb研修「高齢者の転倒予防・クレーム、苦情対応・接遇の理解と現場にふさわしい言葉使い」について受講してもらい、項目ごとにアンケートを実施し効果を確認することができました。介護職20名中20名の理解度100%を得る事ができました。
	②ホームページ掲載用の話題を構成。又はご利用者の誕生日に合わせて、ユニット新聞を作成する。	②4月はHPへの掲載は6件、そして生活のご様子や誕生日会、行事等を記載した紅華の森新聞を、ご家族へ発行することができました。
5月	①ネット研修を実施する	①各ユニットで月4項目のWeb研修「食後の口腔ケア・記録のポイント・緊急時対応・標準感染予防対策」について受講してもらい、項目ごとにアンケートを実施し効果を確認することができました。介護職20名中20名の理解度100%を得る事ができました。
	②ホームページ掲載用の話題を構成。又はご利用者の誕生日に合わせて、ユニット新聞を作成する。	②5月はHPへの掲載は6件、そして生活のご様子や誕生日会、行事等を記載した紅華の森新聞を、ご家族へ発行することができました。

令和4年度	目標達成実施項目	実績
6月	①ネット研修を実施する。	①各ユニットで月4項目のWeb研修「報告の仕方・新人教育の前に知っておきたいリーダーの心構え・クレーム、苦情対応～実践編・インフルエンザ、ノロウイルス対応」について受講してもらい、項目ごとにアンケートを実施し、内容について効果を確認することができました。
	②ホームページ掲載用の話題を構成。又はご利用者の誕生会に合わせて、ユニット新聞を作成する。	②6月はHPへの掲載は6件、そして生活のご様子や誕生会、行事等を記載した紅華の森新聞を、ご家族へ発行することができました。
7月	①ネット研修を実施する。	①各ユニットで月4項目のWeb研修「拘縮ケア・看取りケアの基本・認知症ケアの専門性と理解・ヒヤリハットの目的と意義」について受講してもらい、項目ごとにアンケートを実施し研修内容について効果を確認することができました。
	②ホームページ掲載用の話題を構成。又はご利用者の誕生会に合わせて、ユニット新聞を作成する。	②7月はHPへの掲載は7件、そして紅華の森新聞では日頃の生活のご様子や誕生会、行事等を掲載しご家族へ発行することができました。
8月	①ネット研修を実施する	①各ユニットで月4項目のWeb研修「・遊びリテーション・アセスメントの目標・介護職員の医療外行為・摂食嚥下の基本」について受講してもらい、項目毎にアンケートを実施、研修内容について効果を確認することができました。
	②ホームページ掲載用の話題を構成。又はご利用者の誕生会に合わせて、ユニット新聞を作成する。	②8月はHPへの掲載は7件、紅華の森新聞では日頃の生活のご様子や誕生会、行事等を掲載し、ご家族へ発行することができました。ご家族から、「4月から発行の紅華の森新聞、とても良いですね。大切にしていますよ。担当の方々、写真を撮ったり、レイアウトをしたりと忙しい中、本当にありがとうございます。お知らせや、ちょっといい話なども、ほんわかしますね。これからもよろしくお願いします」と、ご意見を頂くことができました。
9月	①ネット研修を実施する	①各ユニットで月4項目のWeb研修「個人情報の取り扱い・褥瘡発症のメカニズムとずれについて・入職別キャリア別対応方・聞き上手なリーダーとなるために」について受講してもらい、項目毎にアンケートを実施、研修内容について効果を確認することができました。
	②ホームページ掲載用の話題を構成。又はご利用者の誕生会に合わせて、ユニット新聞を作成する。	②9月はHPへの掲載は5件、紅華の森新聞では敬老会特集を掲載し、ご家族へ発行することができました。トーチ・カジマヤー祝いを迎えたご利用者のご家族には新聞と敬老会のフォトムービー(DVD)も合わせてお渡しし「祝っていただきありがとうございました。」と感謝の言葉が聞かれました。

令和4年度	目標達成実施項目	実績
10月	①ネット研修を実施する。	①各ユニットで月4項目のWeb研修「チームで取り組むということの意味を理解する・行動、心理症状はなぜ起こる・不適切ケアを考える・利用者の真の主訴を考える・」について受講してもらい、項目毎にアンケートを実施、研修内容について効果を確認することができました。
	②ホームページ掲載用の話題を構成。又はご利用者の誕生会に合わせて、ユニット新聞を作成する。	②10月はHPへの掲載は7件、紅華の森新聞では誕生会や生活活動、クラブ活動などの日常生活の様子を掲載し、ご家族へ発行することができました。
11月	①ネット研修を実施する。	①月4項目のWeb研修「バイスティックの7原則・介護現場の衛生管理・解剖学で座位を考える・職員の健康管理」について受講してもらい項目毎に「この研修でまず何を実施しようと思ったか、印象に残っている内容は」などアンケートを実施、ご利用者や職場環境を想像しながら書いている内容で効果を確認することができました。
	②ホームページ掲載用の話題を構成。又はご利用者の誕生会に合わせて、ユニット新聞を作成する。	②11月はHPへの掲載は5件、紅華の森新聞では誕生会や生活活動、クラブ活動などの日常生活の様子を掲載し、ご家族へ発行することができました
12月	①ネット研修を実施する。	①12月のWeb研修「食事介助の姿勢・認知症の特徴と多職種連携の必要性・変化を嫌う職員の特徴を理解する・感染対策において求められるもの」について受講。 アンケートで何を実践しようと思いましたが。 1、「これまでズレ落ち予防として滑り止めマットを使用していたが、それは褥瘡を作りやすくする状況を作っていた事だと知り、これからはマットに頼るのではなくクッションや足を上げるなどの工夫を実践していきたい」 2、「帰宅願望のある利用者さんが「いま、ここにいなきゃ」と思えるような工夫をする」 3、「感染対策では、誰でも、いつでも、何度でも、出来ることを実行する」など現状と照らし合わせながら考えていることが見え、効果を確認することができました。
	②ホームページ掲載用の話題を構成。又はご利用者の誕生会に合わせて、ユニット新聞を作成する。	②12月はHPへの掲載は9件、紅華の森新聞ではクリスマス&忘年会特集を掲載しそれぞれユニットの楽しそうな雰囲気伝える内容になっており12月末にご家族へ発送することができました。

令和4年度	目標達成実施項目	実績
1月	①ネット研修を実施する。	①1月のWeb研修「1、認知症の3分類・2、異常の早期発見のための観察の視点・3、自立支援とは・4、超高齢化社会における課題」について受講。研修を受けて何を実施しようと思ったかについて 1、「葛藤・回帰・遊離型により相手と接する関わり方がより明確になり、それぞれのケアの際はその方の心の状態に寄り添い、安らげる居場所作りを考えていきたい」2、「ただ見る、聞く、感じる観察だけでなくいつもの状態を知り状態を分析早期発見できるよう努めたい」3、「どうしたらできるのかを考え出来ない事を直ぐに介助するのではなく、出来るようになる為の工夫をする」 4、「老後に向けての貯蓄計画・健康維持！」の意見があり、介護場面に当てはめて考えている事や自分毎として捉えていることが分かり、研修効果を確認することが出来ました。
	②ホームページ掲載用の話題を構成。又はご利用者の誕生会に合わせて、ユニット新聞を作成する。	②1月のHPへの掲載は5件、紅華の森新聞では新年行事の特集を掲載し、ユニットの雰囲気及びご利用者の様子を伝えています。全ご家族へ手渡し又は発送することができました。
2月	①ネット研修を実施する。	①2月のWeb研修「1、看取りとは・2、記録の目的・3、脳卒中の主な障害・4、感じの良い挨拶」について受講。受講してまず何を実施しようと思ったか。 「職員の文章例」 1、「看取りとは」看取りは、死ぬことの支援ではなくその人らしく生ききる支援が重要なので、「普段の何気ない日常の生活」を大切にしながら介護をしていきたい。 2、「記録の目的」記憶に頼らずすぐに記録する。文章の書き方を考え分かり易い文章にする。 3、「脳卒中の主な障害」Sさんは脳出血からの左麻痺と高次脳機能障害がある。今までは座位時の体の傾きや麻痺側ばかり注意していたが、痛覚や触覚の弱化にも注意をはらい事故防止に努めていきたい。 4、「感じの良い挨拶」 何事にもタイミングが重要なのでそのタイミングを逃さない、コロナも収束に向かい、これからは家族様の面会が頻回になるものと思われ、より一層気引き締めマナーを重視した挨拶などを心がけたい等アンケートに答えています。 理解度100%で効果を確認することが出来ました。
	②ホームページ掲載用の話題を構成。又はご利用者の誕生会に合わせて、ユニット新聞を作成する。	②2月のHP掲載は11件、紅華の森新聞ではユニットでの活動及びご利用者の様子を載せ、全ご家族へ手渡し又は発送することができました。

令和4年度	目標達成実施項目	実績
3月	①ネット研修を実施する。	①3月のWeb研修「1、リーダーの役割・2、正常な排泄とは・3、入浴のアセスメント・4、姿勢ケアの基本的な考え方」について受講し、アンケートにはそれぞれの思いや感じた事を知ることが出来、効果を確認することができました。 1年間web研修にて介護の基礎技術や高齢者の心身の特徴、認知症の特徴など47項目の研修を受講し理解度100%を得ることが出来、職員の知識の向上、サービスの質の向上に繋がったと考えています。
	②ホームページ掲載用の話題を構成。又はご利用者の誕生会に合わせて、ユニット新聞を作成する。	②3月のHPへの掲載は11件、紅華の森新聞ではご家族との面会の様子や活動の内容を載せ、全ご家族へお渡しすることができました。 コロナ禍の中で、面会制限や施設内の様子が見えなかった時期に、新聞で報告できたことで、安心へと繋がりご家族との結びつきを維持できたと感じています。(HP掲載85件) ①②の目標を達成することが出来ました。

毎月、紅華の森新聞を発行してきました。 こちらは5月の新聞です。



3. ケアプランの策定

課題分析により、ご利用者の有する能力に応じ自立した日常生活を支援することを目的に、食事、排泄、入浴における自立支援を目標に策定してきました。

(1) ケアプラン（サービス計画書）作成担当者及び手順

作成担当者を介護支援専門員とし、ご利用者が要介護更新認定又は、要介護状態区分の変更認定を受けた場合サービス計画書を作成することができました。

- ① 課題分析（アセスメント）により、自立支援に向けた解決すべき課題を抽出し、ご利用者及びご家族の希望を勘案し、サービス計画書原案を作成。
- ② サービス担当者会議を開催、施設長、生活相談員、栄養士及び介護サービス提供にあたる介護職員、看護職員、機能訓練員を召集しサービスご利用者、サービス計画書原案の内容について、専門的な立場から意見を取り入れてきました。
- ③ サービス計画書原案の内容についてご利用者又はご家族に対して説明し、文書により、ご利用者の同意を得、交付することができました。
- ④ サービス計画書を作成後、サービス計画の実施状況の把握「モニタリング」に当たっては、ご利用者及びその家族との連絡を継続的に行うこととする。又定期的に、各担当者の意見を踏まえて、サービスの評価及び、目標設定の評価を行い、必要に応じて変更を行ってきました。

(2) 機能訓練

作成担当者を機能訓練員とし、サービス計画書作成時、機能訓練計画書を作成して来ました。

- ① 生活機能を中心に食事、排泄、入浴、移動など日常生活の不自由さの身体機能・精神的機能を評価し日常生活において「実施している活動」、機能訓練時の「できる活動」を分け、潜在的生活機能の「促すと出来る」活動を活かし、「実施している活動」への向上を目標に情報を抽出。ご利用者及びご家族の希望を勘案し、機能訓練計画書原案を作成してきました。
- ② 機能訓練計画書原案の内容についてご利用者又はご家族に対して説明し、文書により、利用者の同意を得て、実施することができました。
- ③ 機能訓練計画書を作成後、機能訓練計画の実施状況の把握を行い、必要に応じて変更することができました。

生活リズムを整えるために、朝食後それぞれのユニットのリビングで、ラジオ体操や健康体操を行う事で一日の始まりとして習慣化しています。歩行訓練では、日頃車椅子を使用しているご利用者に対して、歩行器を使用して室内外を散歩しながら、楽しく訓練して頂いています。また、廊下の手すりを活用した立位訓練や、ベッド上での可動域訓練、リビングでくつろいでいるご利用者にマッサージをしながらお話を伺い心理、精神ケアも行なっています。

A：関節可動域訓練 B：立ち上がり訓練 C：生活動作訓練 D：筋力強化訓練

F：心理・精神ケア G：ラジオ体操

延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	270	274	240	248	251	253	161	150	155	155	140	151
B	660	692	744	775	756	730	788	803	829	837	770	850
C	870	894	863	899	880	718	835	787	860	868	798	886
D	510	527	531	527	508	508	768	727	798	806	742	824
E	270	279	294	310	288	240	237	217	247	248	224	248
F	870	894	863	899	889	718	835	787	860	868	798	886
G	685	641	653	694	655	641	649	629	621	652	566	623

4. 介護サービス

(1)介護サービスと生き甲斐づくり支援

それぞれユニット毎に、ご利用者の能力に応じ、洗濯物たたみ、おやつ作りの手伝いや屋外では、日光浴を楽しんでいただきました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大に伴い外出は控え、施設内のまちやぐあーに出掛け、お菓子の買い物を楽しんでいただきました。

(2)食事サービス

管理栄養士、介護職、看護職と連携を図り、ご利用者の状態に合わせた食事形態を提供し個々にあった支援をしてきました。各ユニットのキッチンではご利用者の近くで、ご飯の炊ける匂いや味噌汁を作る様子が見えるようになっており、配膳の際はメニューを紹介し食事が楽しみになるよう工夫しています。厨房においては高齢者向けに食べやすく調理することは当然のこととし、季節の行事にあわせたメニューを提供。家庭と同じように陶器の食器を使用し、より美味しく見えるよう盛り付けを行っています。毎食後は食事量を確認し、体重増減など体調の観察にも努めて来ました。またエントランスにはメニュー表を掲示しみんなで共有しています。

(3)排泄サービス

トイレでの排泄を可能にするために、定期的なトイレ誘導や行きたいときにトイレに行くことができるよう、個々の排泄パターンや習慣の把握に努め、可能な限りトイレでの排泄援助を実施し、本人の排泄リズムに沿った支援を心がけてきました。又、居室にトイレが設置されている為、常に清潔に努め、使用中はトイレのドアを閉めプライバシーの保護にも努めてきました。

(4)入浴サービス

ご利用者の入浴は、出来る限り本人の希望に沿った入浴時間を提供し、一人ひとり入っていただき、重度の方に対しては職員2人介助で対応し安心して入浴できるように努めています。状態に合わせてシャワーチェアやストレッチャーでの入浴を実施し、ご自分でできるところはやっていただくよう自立支援にも努めてきました。

(5)生活相談、家族との連携

常にご利用者の心身状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、ご利用者又はそのご家族に対し、その相談に適切に応じるとともに必要な助言その他の援助を行って来ました。また、その都度、入居者の状態の報告を行ったことで病院受診や緊急時には、ご家族との連携がスムーズに行うことができ、早期に対応することができました。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ご家族との直接面会や外出を控えて頂き、ガラス越しの面会で対応してきました。少しでもご家族に安心して頂こうと、ご利用者の生活のご様子や施設内行事などの写真を掲載した、紅華の森新聞を作成し、毎月ご家族に発行し絆を維持することができたと考えています。令和5年3月からは県内外の新型コロナ感染者の減少と、感染レベルの引き下げや感染対策緩和により、ご家族との面会を緩和することが出来き、久しぶりの直接面会に大変喜ばれるご様子が見られました。



5. 地域交流・ボランティア受け入れ

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ボランティア、保育園の園児との交流及びボランティアの受け入れは感染予防の為、最小限にさせていただきました。また地域住民代表、有識者、民生員、入居者で構成する、運営推進会議においても、施設での開催は中止し、文書の発送にて施設の情報報告しております。



「ハロウィーンで、ぼかぼか保育園の園児が友愛訪問」



「生け花ボランティアの先生」

6. 職員教育訓練

令和4年度は、インターネットでの動画配信による研修を中心に介護技術の向上、知識の習得を目標に計画し、47の課題項目を受講することが出来ました。

令和4年度受講した研修名	
1 高齢者の病気の特徴	25 記録の目的
2 接遇の理解と現場にふさわしい言葉使い	26 脳卒中の主な障害
3 高齢者の転倒予防	27 感じの良い挨拶
4 緊急時対応	28 正常な排泄とは
5 食後の口腔ケア	29 姿勢ケアの基本的な考え方
6 インフルエンザ・ノロウイルス	30 立ち上がりを理解する
7 拘縮のケア	31 安全の決め手となるコミュニケーションと確認
8 認知症ケアの専門性を理解する	32 食形態の分類
9 看取りケアの基本	33 誤飲時の対応
10 ヒヤリハットの目的	34 介助の基本
11 摂食嚥下の基本	35 身体拘束防止の具体策
12 介護職員の医療外行為	36 クレーム・トラブル対応
13 褥瘡発生のメカニズムとずれについて	37 ことばの影響
14 不適切ケアを考える	38 高齢者の心身の特徴
15 行動・心理症状（問題行動）は、なぜ起こるのか	39 不適切ケアと虐待
16 チームで取り組むということの意味	40 廃用症候群の知識と坐位の効果
17 バイステックの7原則	41 床ずれ防止用具
18 介護現場の衛生管理	42 利用者の人権と尊厳
19 食事介助時の姿勢	43 高齢者の衣類
20 認知症の特徴と多職種連携の必要性	44 事故発生後の対応
21 感染対策において求められるもの	45 死を直前にしたケアのポイント
22 認知症の3分類	46 腰痛予防対策と腰を痛めない介助法
23 異常の早期発見のための観察の視点	47 高齢者支援を行う対人援助職の倫理
24 自立支援とは	

受講後のアンケートでは、介護に対する意欲、前向きな回答が得られ、介護技術、知識の向上に繋がり、今後はケアの実践に活かしていくことが期待されます。

7. 防災管理


昼間、厨房内から出火したと想定した訓練と、夜間、はなの家のユニットの洗濯場のコンセントから出火したと想定した自衛消防訓練を実施。厨房職員と一緒に進む訓練は始めてで、実際に火を使う場所であるためリアルな訓練が行え、これまでの訓練経験を活かし、スムーズな消火、避難誘導を行うことができました。日頃から防災意識を持つ大切さを再確認することができ、今後は自然災害に関する訓練の実施も必要なため、地域との協力体制の構築に努めていきたいと考えています。



8. 行事計画




令和4年度も新型コロナウイルス感染予防の為にボランティアの受け入れやご家族の参加の行事は開催できませんでしたが、施設内及びユニット毎に生け花クラブやおやつ会、誕生会、季節行事を計画し、ご利用者の日々の生活に楽しみを感じていただけるよう支援してきました。

令和4年度	内 容	実施担当
5月	<p>はなの家で、ツルさん 98 歳、恵美さん 91 歳の誕生会を開催。他のご利用者や職員から「おめでとう」と声を掛けられると笑顔と喜びの涙が見られました。5月は母の日も兼ねており、シャンパングラスで乾杯。歌やカチャーシーでお祝いしています。</p>  	友江・木脇
	<p>生け花クラブは感染予防の為、各ユニットで行われ、シャクヤク、ガーベラ、カーネーション、ヒペリカムの季節の花を自由に生けていただき、生けた花を眺め嬉しそうな表情をされていました。</p>   	嘉数 宇榮原 大見謝 木脇

令和4年度	内 容	実施担当
6月	<p>もりの家では、父の日の行事が行われ当日は天気も良く、ベランダにて会食をすることが出来ました。職員による三線の音色に合わせてご利用者全員で歌を楽しむことが出来ました。</p>	知花
	<p>はなの家では、ミヨさん86歳、藤子さん88歳の誕生祝いが行われ、軽食やおやつをビュッフェ形式で提供し、好きなものを選んでいただき大好評でした。誕生会では歌を唄い、誕生日を迎えたご本人達から感謝の言葉も聞かれました。</p>	友江
	<p>べにの家では、スエさんの誕生会とおやつ会と一緒に計画し、エントランスのまちやぐあーで好きな駄菓子をご自分で選び、自動販売機ではコーラやジュースを購入して談話コーナーでお菓子と一緒に召し上がっていただきました。</p> 	前川
	<p>生け花クラブは感染予防の為、各ユニットで行われ、トルコキキョウ、姫ヒマワリ、バラの花を職員と一緒に自由に生けていました。</p>	嘉納 岸本・比嘉
7月	<p>もりの家では、清子さん、正一さんの誕生会が開かれ、職員の三線に合わせて一緒に歌を唄い、最後はカチャーシーで盛りまりました。</p>	知花 鈴木
	<p>はなの家では、エントランスでお楽しみ会（夏祭り）を開催。昔懐かしい、射的や金魚すくい、魚釣りゲーム、ゲートボールを行いました。射的で命中すると歓声が上がリ、はしゃぐ様子が見られました。自然と会話も弾み時間が経つのを忘れて楽しんでいました。</p> 	友江
	<p>生け花クラブは感染予防の為、各ユニットで行われ、ゆり、スターチス、スプレーカーネーションの花を生けていただきました。「明日にはゆりのつぼみがひらくね」と楽しみにしていました。</p>	薄井・宮城 金城
8月	<p>べにの家では、文子さん94歳の誕生会が開かれ、ご利用者、職員全員でバースデイソングを歌い、ご本人にケーキのローソクの火を吹き消して頂き、満面の笑みが見られました。みんなでケーキをあやかり楽しい時間を過ごしています。</p>	前川・嘉納
	<p>はなの家では、キクさん89歳の誕生会が開かれ、歌やお祝いのあいさつなどされ、ビンゴゲームでも盛り上がり楽しんでいました。</p>	友江
	<p>生け花クラブは感染予防の為、各ユニットで行われ、スプレーカーネーション、リンドウ、ソリダコの花を生けていただきました。ご自分の生けたお花を眺めて満足そうな表情をされていました。</p>	宇榮原 比嘉 大見謝

令和4年度	内 容	実施担当
9月	<p>もりの家で長寿を祝う敬老会が開催され、米寿を迎えられたエミさんのお祝いも一緒に行っています。入居者代表のあいさつや乾杯の音頭もすばらしく、職員の余興では三線や舞踊、ダンスなど衣装にも凝り、全力で披露していました。入居者の皆さんから大きな拍手をもらい、最後にはカチャーシーで盛り上がりました。</p>	知花
	<p>はなの家でも、敬老会が開かれ、入居者全員、お化粧品やおしゃれ着を装いカジマヤーを迎えるヨシさんや、トーカチ祝いの初枝さんの長寿の祝いも合わせて行っています。職員の余興ではマツケンサンバが披露され手作り衣装と踊りで入居者の笑いを誘っていました。</p>	友江
	<p>べにの家での敬老会では、新百歳の光子さんと米寿のタケさんのお祝いも兼ねて行いました。お化粧品やおしゃれ着に身を包んだご利用者はいつもと違う雰囲気、職員の余興や厨房からの豪華な行事食を楽しまれました。</p>	前川
		各ユニット敬老会風景
10月	<p>もりの家：美代子さんの誕生会が開かれました。誕生会の前にはモズクや野菜の天ぷら、サーターアンダギーの下ごしらえをご利用者が手伝い、ご馳走を前にして誕生会を一緒にお祝いしています。</p>	知花・鈴木
	<p>はなの家：ヨシさん 96 歳の誕生会が開かれ、9月の敬老会でカジマヤーを迎えたことを覚えていて、「お祝い終わったよー」と言われ、また誕生日を開いてもらったことを大変喜ばれていました。</p>	友江・岸本
	<p>べにの家：ヨシ子さん 91 歳の誕生会が開かれ、ハロウィーンという時期もあり、被り物や飾りを付けてお祝いしています。みんなさんから「おめでとう」の言葉を掛けられ、照れたような表情を見せていらっしゃいました。</p>	前川・比嘉
	<p>生け花クラブは感染予防の為、各ユニットで行われ、すかり百合、スターチス、カーネーションの花を生けていただきました。生け終わった後は「上手にできた」とグットサインをされ、楽しい時間を過ごされていました。</p>	宇榮原 友江・金城 大見謝
11月	<p>もりの家で、エミさん 87 歳、政徳さん 97 歳の誕生会が開かれました。皆さんからのお祝いの言葉やご本人から感謝の言葉が聞かれ、みなさんでケーキを頂きながら楽しい時間を過ごしています。</p>	知花・松田
	<p>はなの家では、静江さん 90 歳の誕生会が開かれました。夜勤者の職員が会場の飾りつけを行い、当日の職員がケーキを用意しおやつ時間にみんなでお祝いして美味しくいただくことが出来ています。</p>	友江・岸本

令和4年度	内 容	実施担当
11月	べにの家でも、澤子さん93歳の誕生日会が開かれ、誕生日を迎えるご本人はお化粧品やおしゃれ着を着て頂き、いつもと違う雰囲気でお祝いに参加してもらいました。皆さんからはお祝いの言葉を掛けられ、ご本人からも感謝の言葉を述べ、ご家族からいただいたケーキを前に大変喜ばれていらっしゃいました。	前川 饒平名
	生け花クラブでは感染予防の為、各ユニットで行われ、ストック、菊、赤いバラの季節の花を職員とのおしゃべりも楽しみながら楽しいひとときを過ごしていらっしゃいました。	宇榮原 木脇・池原 滝・橋詰
12月	もりの家でクリスマス&忘年会が開催。ご利用者はカラオケやビンゴゲームを楽しまれ、その後はシャンパングラスで乾杯し、職員の手作りケーキやご馳走を食べながら年末の雰囲気を味わっていました。	知花・橋詰
	はなの家でもクリスマス&忘年会が開催され、オードブルや、ピザ、ケーキをテーブルに並べ、お一人お一人から1年を振り返りや来年の抱負を述べて頂き、カラオケ大会ではみんなで歌い楽しい時間を過ごしています。	友江
	べにの家のクリスマス&忘年会は、数日前からご利用者にはクリスマスツリーに飾りつけをしていただき、楽しみになっていました。当日はビンゴゲームや歌を歌い、シャンパングラスで乾杯し、みんなでご馳走を頂いています。	前川
令和5年 1月	お屠蘇会(1月4日)を開催。感染予防の為、各ユニットで行っています。お屠蘇やお花、重箱に饅頭を用意。ご利用者一人一人に新年のあいさつ述べ、お神酒(ジュース)と、ご利用者からご希望があったビールを飲んでいただき、今年も健康で健やかな毎日が過ごせ、新型コロナウイルスが終息するよう願いました。	嘉数 宇榮原
	 	
	べにの家ではトヨさんの91歳、初美さんの73歳の誕生日会が開かれ、みんなで歌を唄ったり、ゲームをしたりと賑やかな誕生日会となりました。	前川・宮城
	生け花クラブは、久しぶりに各ユニットからエントランスに集まり、行いました。お花はトルコキキョウ、ストック、黄色い百合の三種類。生けた後は、お茶やお菓子を頂きながら、他のユニットのご利用者との交流を楽しんでいました。	嘉数 宇榮原

令和4年度	内 容	実施担当
2月	<p>もりの家で、清子さん 85 歳の生年祝いを開催。ご本人と他のご利用者もお化粧とおしゃれ着で参加。職員の余興ではかぎやで風を始め、三線や獅子舞も披露され、職員手作りのご馳走など豪華なお祝いとなりました。</p> 	知花
	<p>べにの家では新城ハツエさんの 101 歳の誕生会が開かれました。皆さんでテーブルを囲み、ハツエさんが大好きな「ふるさと」を歌い、テーブル上ではボーリングゲームを楽しまれ大変盛り上がっていました。</p>	前川・宮城
	<p>生け花クラブでは各ユニットから 3 名参加され、久しぶりにボランティアの先生もいらっしやり、先生のご指導で真剣に生けていらっしやいました。生け終わった後はお茶やお菓子をいただきながら、ご自分のお花を眺め満足そうな表情をされていました。</p>	嘉数 宇榮原
3月	<p>はなの家 信子さん 87 歳、春子さん 95 歳の誕生祝いということで、ご本人達の希望で外出し、マクドナルドでハンバーガーを食べに行くことになりました。ドライブスルーでハンバーガーを購入した後、ネーブルカデナを見学。店内で天ぷらも購入し飲食店で食べて頂きました。お二人とも久しぶりの外出に「良い思い出になった」と大変喜ばれていました。</p> 	友江・池原
	<p>もりの家では、読谷村のコスモス畑へ出かけました。コロナ禍で長い間外出を控えていたこともあり、きれいなコスモス畑に感動し気分転換が図れたご様子でした。</p> 	知花・鈴木
	<p>生け花クラブでは各ユニットから 3 名参加。エントランスにてガーベラ、カーネーション、スターチス、マーガレットの花をおもいおもいに生け、その後のお茶会では楽しく交流されていました。</p>	嘉数 宇榮原

10. 職員研修 (社外)

令和4年度	受講者	研修内容	成果
7月	嘉数・知念	新型コロナウイルス感染防止勉強会 (読谷村文化センター)	・新屋洋平先生(沖縄県医師会)・高山義浩先生(沖縄県立中部病院)・横山周平先生(沖縄県立中部病院)・原國政直先生(浦添総合病院)による、新型コロナウイルスの特徴、感染力、病院、施設での感染防止対策方法。高齢者施設等における集団感染発生時の対応方法を学びました。
12月	友江・池原 上運天・木脇 大見謝・知花 松田・鈴木 橋詰・滝 嘉納・饒平名 宮城・金城 比嘉・前川	排泄ケア研修 (施設外講師)	パットの吸収量や材質について改めて学び、また実際に履いてみて実体験をすることでパットの選び方、当て方、タイミング等を考慮して、ご利用者個々に合った快適な排泄ケアを学ぶ事が出来ています。 受講後のアンケート内容 ・パットやオムツの当て方の正しい手順を再確認することが出来た。個々の体型や尿量、排泄のタイミングに合わせてケアを見直したいと感じた。 ・パットを広げる時、パットを持って勢いよく広げるとポリマーが偏ってしまい、肌を傷つけてしまう原因になる事を知った。 ・リハビリパンツのギャザーの立て方、たるまない履かせ方。オムツのテープをとめる位置で隙間がなくせるなど適切な排泄ケアを習得することが出来ました。
11月	金城・滝	認知症介護基礎研修(eラーニング)	認知症の定義と原因疾患の理解。認知症の中核症状と行動・心理症状の理解。認知症ケアにおいて基礎となる理念や考え方。認知症ケアの基礎技術を習得することが出来た。修了証書を授与されました。
1月～3月	宮城・饒平名	認知症と口腔ケア(読谷村文化センター)	口腔ケアの重要性。認知症との関係。口腔ケアの対応方法について学ぶ事が出来、口腔ケアが健康、快適な生活を維持するために重要であることを認識することが出来ました。
	嘉数・宇榮原 知念・新垣 友江・知花 前川	沖縄県老人福祉施設職員研究大会(web研修)	第1回全国老人福祉施設大会 in 栃木 ・「認知症ケアの実践」では日常生活を改善することで精神状態の安定が図られる事。 ・「看取り・医療行為の実践」心残りゼロケアでは施設での見取り実施率が高まっており「看取り」の実施を決断できたご家族が増えている事、日常生活の中で自然な看取りが出来ている事。 ・「食べる」ことは「生きる」こと～自分のお口で美味しく、安全に食べ続ける為に～、食べる事の楽しみにアプローチし食事形態の変更や食事量アップなど経口摂取への取り組みについて参考になっています。

11. 資格保持数 (単位：人)

令和5年3月31日現在

介護福祉士	介護支援専門員	看護師	社会福祉主事	管理栄養士	社会福祉士	合計
12人	3人	1人	0人	1人	0人	17人(重複あり)

12. 統計資料

(1)利用・終了状況 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	0	0	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0	7人
終了	0	1	0	0	0	2	3	0	0	0	0	1	7人

(2)地域別

地区	楚辺	長浜	大湾	高志保	波平	宇座	古堅	瀬名波	都屋	座喜味	大木	渡慶次	儀間	喜名	合計
人数	3	1	1	2	2	1	2	4	2	4	1	2	1	2	28名

(3)介護度別

要介護度	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
人数	0	11	9	8	3.9

(4)延人数・稼働率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	100	99.6	99.2	100	97.8	95.9	93.2	90.5	95.7	96.6	98.3	98.7	97.1
延人数	870	895	863	870	878	834	838	787	860	868	798	887	854

(5)年齢別

性別／年齢	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～110歳	合計
男性	0	0	0	1	0	2	3名
女性	0	1	0	1	8	15	25名

(6)平均年齢

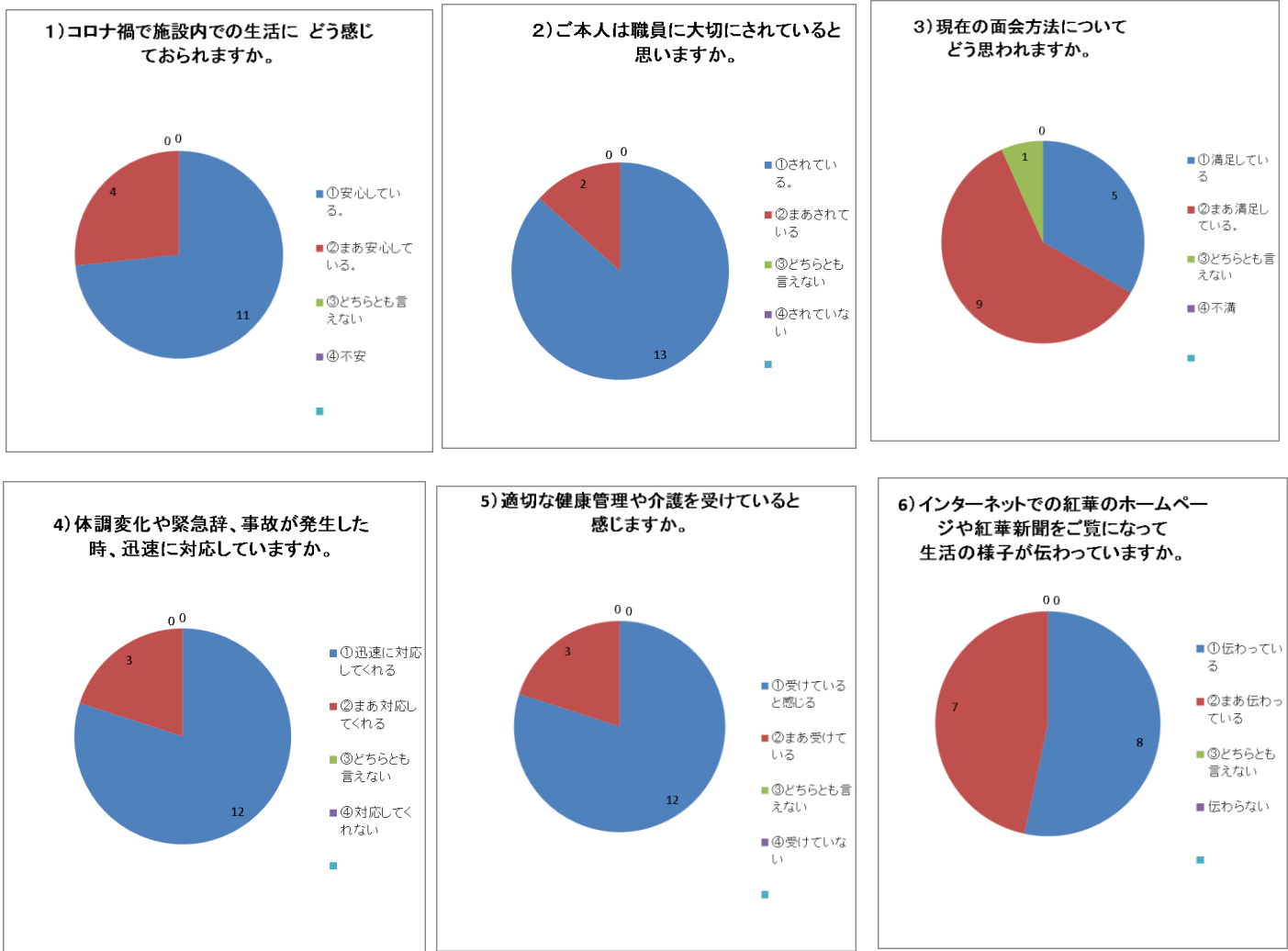
性別	男女別平均	平均年齢
男性	91	91歳
女性	91	

(7)面会者数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
114	86	63	83	77	166	67	75	86	65	62	104	1,048人

※通常面会及びガラス越し面会の人数となっています。

令和4年8月満足度アンケート



令和4年8月実施のアンケートについて集計結果を報告いたします。集計結果は28名のご家族中、15名のご家族より回答をいただきました。

1、コロナ禍で、施設内での生活についてどう感じておられますか。

①安心している。 ②まあ安心している ③どちらとも言えない ④不安
 11人 4人 0人 0人

ご意見 無し

2、新型コロナウイルス感染予防の為に対策がなされていると感じますか。

①されている。 ②まあされている。 ③どちらとも言えない。 ④なされていない。
 13人 2人 0人 0人

ご意見 無し

3、現在の面会方法についてどう思われますか。

①満足している ②まあ満足している。 ③どちらとも言えない ④不満
 5人 9人 1人 0人

ご意見 「予約制、時間制限、人数制限、面会者の対策関連等を確認する等を徹底して行う等
 面会を緩和してほしい」 「お話をしたい」

回答 → 長期に渡り、直接面会できていないことに、ご家族の皆様には大変心苦しく思っております。私たちも毎日、沖縄県のコロナ関連情報、感染情報を注視つつ、ご利用者には感染させては行けないと、職員も職場や家庭で感染予防を徹底しながら過ごしているところです。昨年の10月~12月末に

は感染者数の減少があり、紅華の森も面会解除を行いました。すぐに沖縄県は増加に転じたことがあり不安があります。今後のコロナの感染者数や近隣施設の感染上場を見て、感染対策としての条件付き面会緩和に向けて検討していきたいと考えています。

4、体調変化や緊急時、事故が発生した時、迅速に対応されていると感じますか。

①迅速に対応してくれる。②まあ対応してくれる。③どちらとも言えない ④対応してくれない。

12人 3人 0人 0人

ご意見 無し

5、適切な健康管理や介護を受けていると感じますか。

①受けていると感じる。②まあ受けている。③どちらでもない。④受けていない。

12人 3人 0人 0人

ご意見 リハビリパンツを綿パンツへの変更の提案がありました。個々に尊重していると思いました。

回答 →機能低下予防を図り、快適な排泄ケアの取り組みを継続していきたいと思えます。

6、インターネットでの紅華の森のホームページや紅華の森新聞をご覧になって、生活のご様子が伝わっていますか。

①伝わっている。②まあ伝わっている。③どちらでもない。④伝わらない。

8人 7人 0人 0人

ご意見 4月から発行の紅華の森新聞とてもいいですね。大切にしていますよ。担当の方々、写真を撮ったりレイアウトをしたりと忙しい中、本当にありがとうございます。お知らせやちょっとした話もほんわかしますね。これからもよろしく願います。

回答 →施設内での様子をご家族に見ていただき安心できるように継続して取り組んでいきたいと思えます。

※その他ご意見、ご要望、なんでも宜しいです。ご自由にお書きください。

- ・大変ですが、頑張って下さい。
- ・いつもありがとうございます。感謝あるのみです。
- ・いつもありがとうございます。今年トウシビー祝いの年なのでどのように家族としてお祝いできるか検討中です。相談させてください。

回答 →各ユニットで敬老会と併せて、祝い該当者を紹介し節目のお祝いを皆さんと一緒に、職員の余興や施設からのプレゼント贈呈等、ささやかではありますがお祝いさせて頂きました。該当者の皆さん、入居者の皆さんも大変喜ばれていました。

貴重なご意見ありがとうございました。

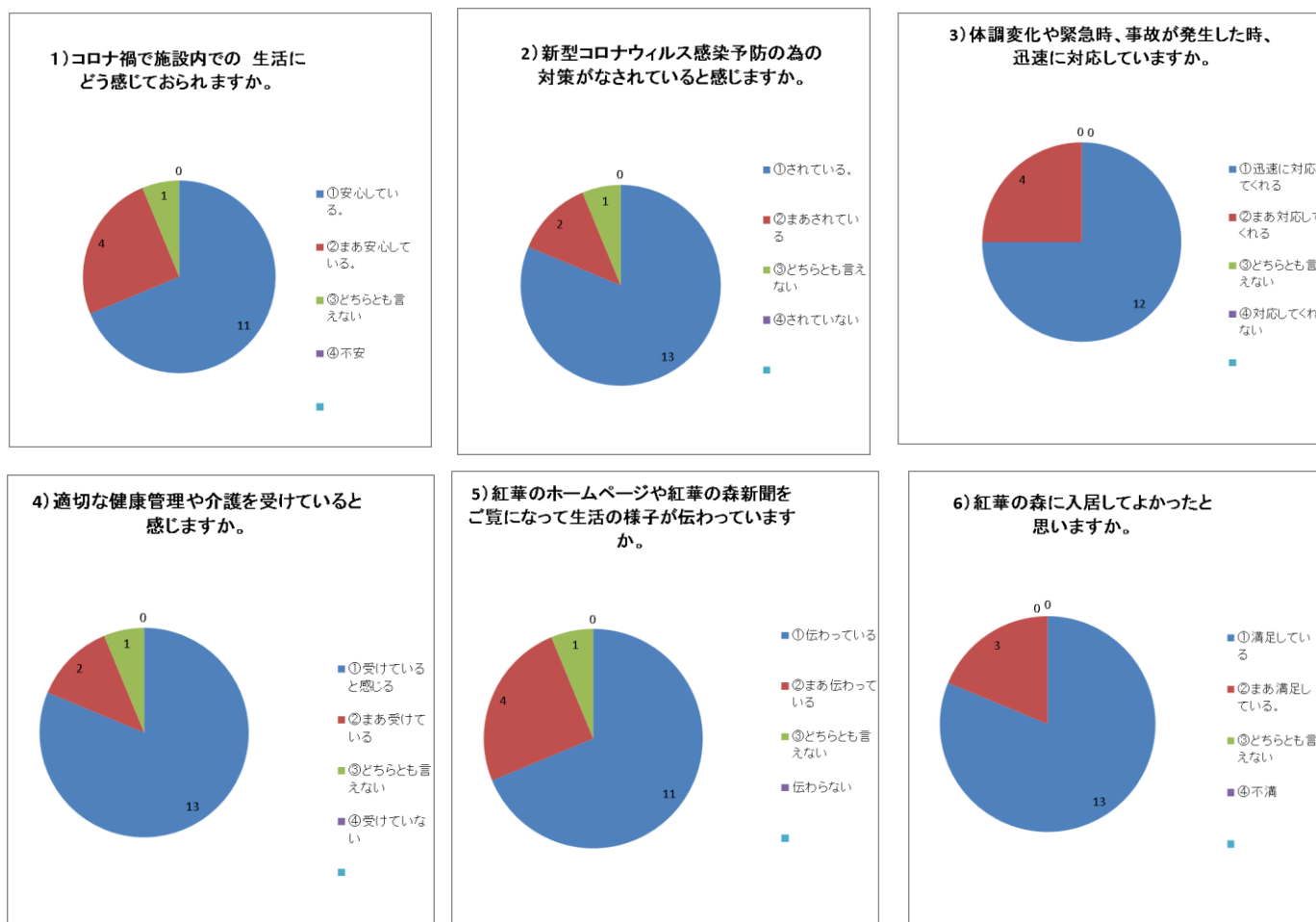
今回のアンケートの回収率は54%、満足度98.8%となっています。

紅華の森は6年目を迎えましたが、その半分の月日が新型コロナウイルス感染予防の為、ご家族との交流もできていない現状で、皆様にご心配と不便をおかけしている状況を大変心苦しく思っております。コロナ感染状況は減少傾向ではありますがいつ、どこで感染するかわからない状況です。幸いにも現時点での施設内での感染は無いですが、職員も施設内に持ち込まないように日々、感染対策に努めている現状をご理解下さるようお願いいたします。これからもホームページや広報紙を活用して多くの皆様に施設内の状況と入居者皆様の様子を配信できるように取り組んでまいります。以前にSNSを活用してはどうかとの声もありましたので、今後はスマホを活用した面会ができればと思います。

他にも良い案がありましたら、ご意見、ご要望等声かけしていただけると助かります。

また、アンケート内容に関してはもっと回収率を上げられるように工夫していきたいと思えますので今後ともご協力よろしく願います。

令和5年2月満足度アンケート



令和5年2月実施のアンケートについて集計結果を報告いたします。集計結果は28名のご家族中、16名のご家族より回答をいただきました。

1、コロナ禍で、施設内での生活についてどう感じておられますか。

①安心している ②まあ安心している ③どちらとも言えない ④不安
 11名 4名 1名 0名

ご意見：三密を避け、換気等も行っていると思います。

回答→密閉空間、密集場所、密接場面を避け、出勤退勤時の消毒の徹底を常に行っています。

2、新型コロナウイルス感染予防の為に対策がなされていると感じますか。

①されている ②まあされている ③どちらとも言えない ④なされていない
 13名 2名 1名 0名

ご意見：濃厚接触者になった時もしっかり検査をして下さり安心しました。

回答→早めの対応で、常に予防に努めています。

3、体調変化や緊急時、事故が発生した時、迅速に対応されていると感じますか。

①対応してくれる②まあ対応してくれる ③どちらとも言えない。④対応してくれない
 12名 4名 0名 0名

ご意見：すぐにTELし連絡して報告下さるので対応がいいと思う。

回答→ご家族の協力を仰ぐこともありますのでよろしくお願い致します。

4、適切な健康管理や介護を受けていると感じますか。

- ①受けていると感じる ②まあ受けている ③どちらでもない ④受けていない
13名 2名 1名 0名

ご意見：明細書等を見て病院受診をして下さっていて助かります。

回答→ご不明な点がありましたらお気軽の声をおかけください。

5、紅華の森のホームページや紅華の森新聞をご覧になって、生活のご様子が伝わっていますか。

- ①伝わっている ②まあ伝わっている ③どちらでもない。④伝わらない
11名 4名 1名 0名

ご意見：新聞等で様子はわかりますが、動きが見られるインスタグラム等もあるといいですね。

回答→ホームページで日常生活の様子を掲載していますが昨今はメディアへの個人情報等流出について大変難しい状況がある為、SNSへの動画投稿については控えています。面会も解除になりましたのでお気軽に施設へ足を運んでいただき、直接、ご家族の様子を確認、お話をさせていただき団欒ができればと思います。

6、紅華の森に入居して良かったと思いますか。

- ①満足している ②まあ満足している ③どちらとも言えない。④不満
13名 3名 0名 0名

ご意見：話を良く聞いてくれてわがままな親の対応にもすぐ答えていつも感謝しています。

回答→いつも職員への労いのお言葉に感謝、励みになっています。

※その他 (コロナ感染対策が解除になった際、まず何を望まれますか？)

ご意見・ご要望

- ・自由に面会が出来たら良いなと思います。手を握り、耳元で話がしたい。
- ・なかなか、自由に本人の様子や職員の対応の様子が見れず、ただ必要な連絡のみで施設に伺うだけです。もっと、自然に施設に入れるようになったら本人の側でゆっくり共に時間を過ごしたい。同じ空気、同じ視界を感じたい。これが思い出になるから。
- ・長い長いコロナ生活に於いて、並々ならぬご苦労があったと思います。母親と窓越しの会話や噛み合あぬ話に歯がゆいや可笑しいやらの日々でした。元気づけようと髪の手入れや明るいマニキュアの母の爪や清潔感ある母の身だしなみに職員の皆様の努力と接し方が伺われます。お陰様で安心して自分は孫の世話やいろんな面で助けてもらっている気がします。施設に甘え、心苦しきもありますが、母の明るく大切にされているんだなという表情に、心より感謝いたします。解除になったら近くの公園や喫茶店にと又、誘ってあげたい。一番頑張ったのはお母さんです。何より文句一つ言わず、コロナに負けず頑張ってくれました。職員あつての私たち親子だと思います。ありがとうございます。これからもよろしく願い致します。
- ・自由な面会
- ・面会です。以前のように中に入れて皆と会えるといいですね。でも、インフルエンザ等感染症も多いので予防も大切にしてほしい。
- ・以前、年末だったと思いますが家族が大掃除をしましたが、また、行われたらいいかな？少しでも職員さんへの恩返し的な
- ・外出許可を受けたい
- ・家族で外出に連れていきたい。
- ・面会させてください。

貴重なご意見ありがとうございました。今回のアンケートの回答率は57%、満足度95.3%となっています。

ご家族の皆様のほとんどが「面会したい」「声が聞きたい」「手を握ってあげたい」と切実な思いが伝わりました。長きに亘るコロナ感染対策としての面会制限が2月下旬よりやっと解除となり、皆様のご協力のもと、利用者の皆様は一人もコロナに感染することなく過ごすことが出来ました。しかし、まだ完全に収まっているわけではないので人数や時間についてはまだまだ、制限をお願いしているところです。このまま、コロナが終息することを願ってやみません。面会制限の中、思うように家族と会うこともできず大変寂しい思いをされての入所となった方々もいらっしゃいます。今後は、これまでの当たり前の日常を取り戻すべく、ご家族の協力のもと施設内での行事や外出支援、他者との交流を充実させる活動を進めていきたいと思っております。

アンケートに関して、回収率が依然として上がらないのが大きな課題です。皆様の声をサービスの見直し、改善、質の向上に繋げて活けるよう、全ご家族が回答くださると大変助かります。

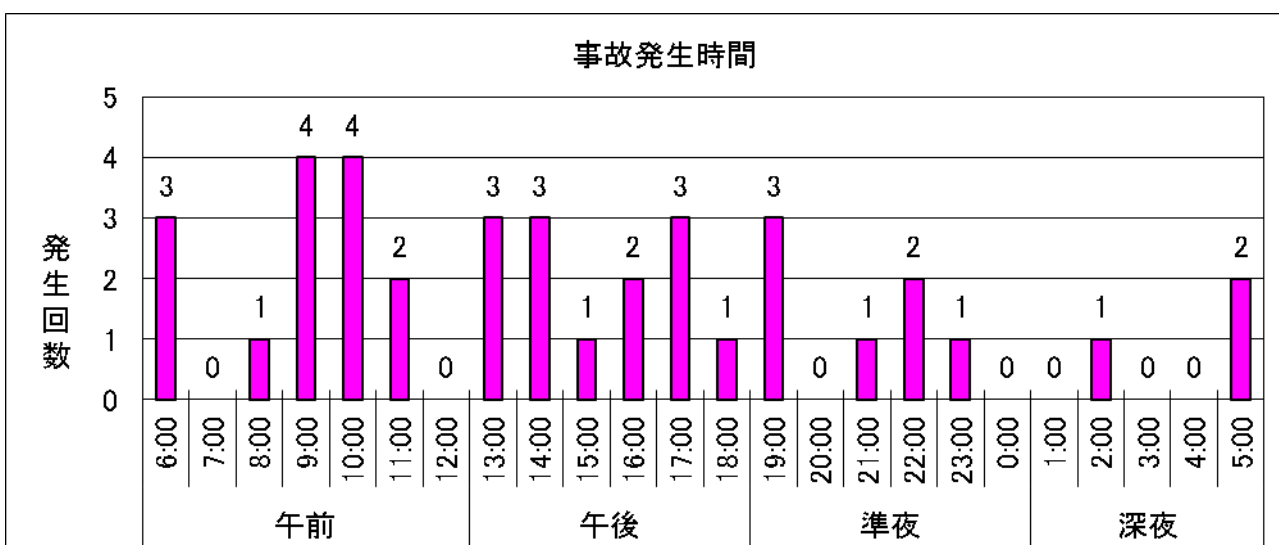
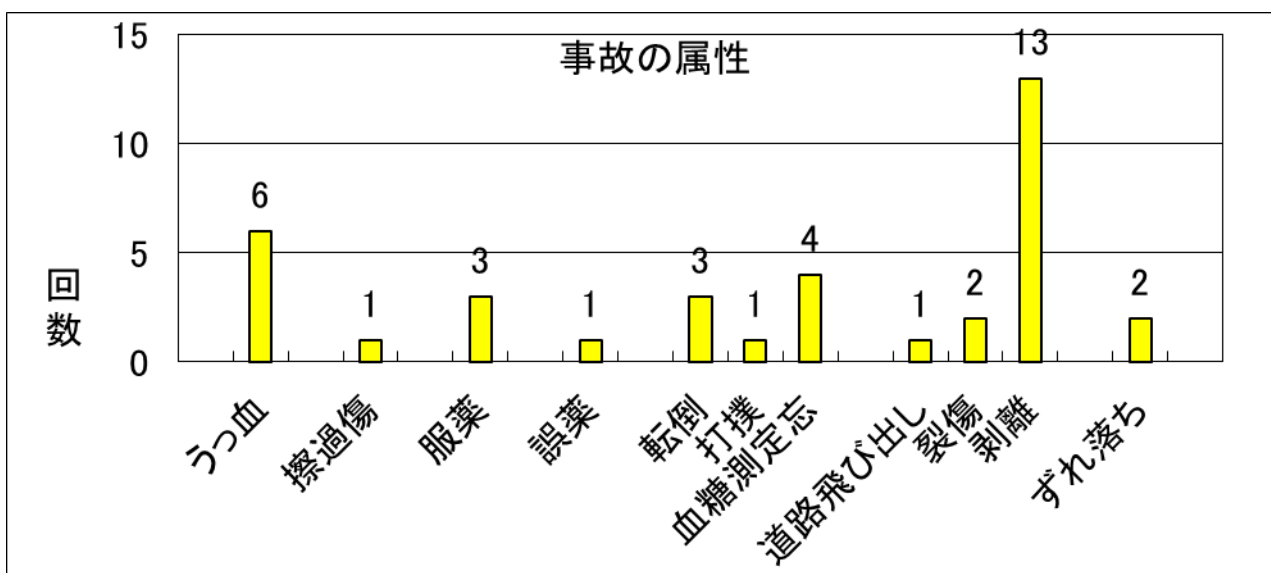
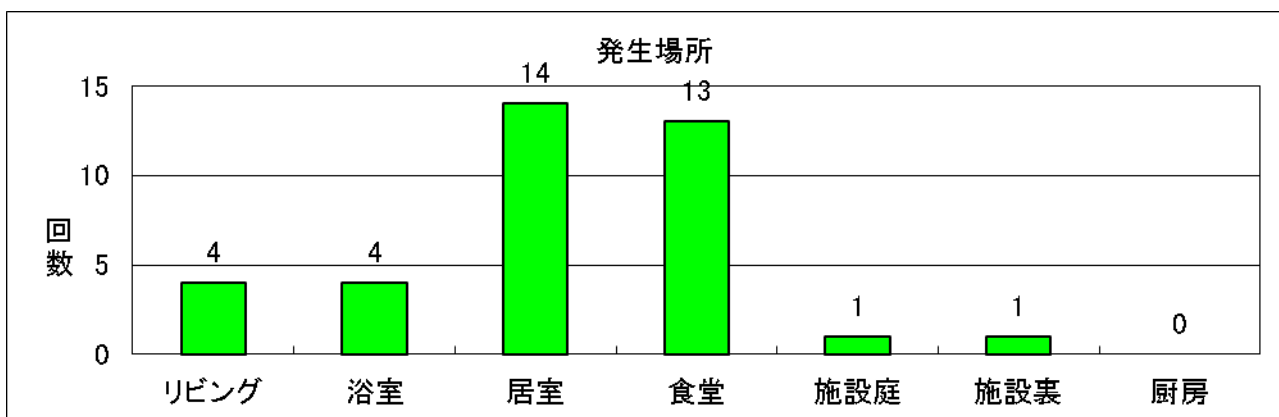
何かありましたら、お気軽に声をかけてくださいますようお願いいたします。

令和4年度 満足度アンケート分析結果報告

前年度に引き続き、コロナ禍で面会制限となり、ご利用者やご家族は直接、対面できず、ガラス越しでの面会を強いられ寂しさと不安な1年間となりました。その中で令和4年8月と令和5年2月にアンケートを実施しご家族のご意見、ご要望を伺う事が出来ました。ご意見には、ガラス越しでの面会が早く解除になって直接、声を聞きたい、肌に触れたいとの声が多くあり、面会解除を切に願うご家族の気持ちが伝わってきます。

令和4年度はコロナ禍でのご家族へ不安や心配を少しでも軽減して頂くために、紅華の森新聞を毎月発送（計12回）、また、ホームページにて日常生活の様子を掲載しご家族へ利用者の様子を見ていただき安心して頂けるように取り組みました。「紅華新聞を楽しみにしています。大事にとっていますよ」との声も聴くことが出来ました。しかし、8月の回答率54%、2月回答率57%と回収率は前年度を下回り、回収の難しさを感じ、改善を図ることが必要とされます。令和5年2月下旬より面会規制も緩み、ご家族と直接対面での面会ができるようになりました。コロナ禍でご家族が施設へ自由に入出入りできない状態での入所となった方が定員の約半数いらっしゃり、行事や外出、外泊等制限の中で過ごされ、施設の中が閉ざされて見えない状況だった為、アンケートの回答ができなかったのではと考えています。今後は、ご家族も自由に行き来し面会できるようになり、サービスへの期待も大きくなってきます。ご利用者、ご家族が安心して生活できるよう「自分や自分の家族が受けてみたいと思うサービス」を心掛け、職員一丸となって取り組んでまいります。

令和4年度 事故・ニアミス報告



事故・ニアミス（気づき）集計結果報告

令和4年度における事故ニアミス（気づき）の発生件数は37件、前年度39件に比べ若干の減少がみられます。分析結果、食事時間前後に、居室でベッドへ移乗後やリビング、食堂で剥離、うっ血を発見した事象が多く上がっています。いずれも発見という形で原因は想定されたもので、明らかなものではありませんが、事故の属性は前年度に比べ少しのうっ血や0. 数ミリ単位の剥離も上がっており、気づきや事故に対する意識が変わってきたと思われま

す。ユニット別にみると、べにの家10件、はなの家12件、もりの家15件でした。剥離しやすい方、転倒リスクの大きい方、投薬状況等、利用者は一人一人の状態が違う為、ケアの内容も違って難しい部分もあります。薬に関する事故も多くなっており、食前後の慌ただしさが伝わります。はなの家では利用者の半分が退所により入れ替わり、入所により生活環境の変わった利用者の精神面への影響もあったのではないかと考えます。

高齢者を取り巻く環境の変化による影響、加齢による身体の衰えや認知症の行動などについて、継続して研修を行い介護技術、知識の向上に努め、多職種との連携、情報共有を図り、安心、安全な生活が継続できるよう支援していきたいと思